

台上は大熱戦

12月2日(日)、第25回 ザ・卓球INすえ(須恵町体育協会主催)が町立卓球場で行われました。

この大会に、初心者から上級者まで卓球愛好者120人(31チーム)が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。会場内には、選手を元気づける声や笑い声などのさまざまな声が響き渡っていました。

大会結果は次のとおりです。(各部3位まで)
ベテランの部①須恵クラブB②須恵クラブA③須恵クラブC
一般の部①さわやか②須恵中B③甲植木A③須恵中C
ピンポンの部①体育協会A②STC-2③昭穂D



息詰まるラリーが展開されました

税について考えよう

12月4日(火)、「税に関する作文」の受賞者に対する伝達式が役場応接室で行われました。

これは、国税庁が、全国の中・高校生から「税について、日ごろ思っていることや考えていること」についての作文を募集しているものです。

香椎税務署管内(糟屋郡・古賀市・宗像市・福岡市東区の一部)では、中学生4,877作品、高校生1,753作品の応募がありました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- ・須恵町長賞 入口真美(須恵高校1年)
- ・糟屋地区市町長協議会賞 岩崎愛華(須恵東中3年)
- ・香椎税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞 田畑美桜(須恵中3年)



写真左から岩崎さん、入口さん、田畑さん

共に生き、支え合うまちづくりを

12月1日(土)、第8回福祉のまちづくり交流会が地域活性化センターで開催され、高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア活動されている人やその関係者など多くの人が参加しました。交流会では、各部会の活動発表や講話が行われました。

講話では佐藤靖典氏(NPO法人福岡県レクリエーション協会専務理事・学習センター長)が、少子高齢社会やいじめなどの問題点やボランティアの重要性、これからの福祉などについてユーモアを交えながらわかりやすく解説されていました。



手話であいさつを練習していました

すえっ肥通信

すえっ肥愛用者にインタビュー(平成24年11月に取材)

平成25年1月号

▶問合せ先 建設産業課
☎932-1438

久山町の特産物とするために、栽培をはじめました。



みほさん
(久山町在住)
しゃくやく栽培
(栽培歴約42年)

Q. 作っているものは何ですか?

しゃくやく

Q. 栽培風景を見せてください。



Q. すえっ肥の良い点を教えてください。

①べた付かず、さらさらしている②臭くない
しゃくやくの花や茎が育つためには、しっかりと根が張ることが重要で、土地が固まることなくしっかりと根を張ります。昔の堆肥は「くさい」「べちゃべちゃ」「虫がくる」「重たい」ものでしたが、すえっ肥にはそれがありません。

Q. すえっ肥をどのようにして使っていますか?
使用するにあたってアドバイスをお願いします。

冬に栽培畝を作る際にふんだんに使用しています。株の上に追肥もしていますが、元肥としてたくさん使うことが大事です。

自 慢 の 一 品



しゃくやく

東日本大震災の被災地に向き、栽培した野菜を寄付しています。



山城さん
(志免町在住)
無農薬野菜栽培
(栽培歴約9年)

Q. 作っているものは何ですか?

にんにく・たまねぎ・ブロッコリー・大根・グリーンピース・ほうれん草・レタスなど

Q. 栽培風景を見せてください。



Q. すえっ肥の良い点を教えてください。

さらさらしていることです。以前購入していたものは、一時乾燥させて使用していました。

Q. 逆に悪い点を教えてください。

大きな木くずが入っていることがあります。1~2年は土に返らないため、取り除かないといけません。

Q. すえっ肥をどのようにして使っていますか?
使用するにあたってアドバイスをお願いします。

石灰を入れ耕した後、すえっ肥を入れ、再度耕し畝を作ります。堆肥は、栽培で追肥するよりも土を作るために最初に多く使うことです。

自 慢 の 一 品



にんにく

2月号では、須恵町有機農業研究会(中村会長)とミズナ栽培農家(篠栗町・井上さん)へのインタビューを掲載します。